



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 デサント

コード番号 8114 URL <http://www.descente.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石本 雅敏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役ロジスティクス管掌 兼スタッフ管掌 (氏名) 辻本 謙一

TEL 06-6774-0362

四半期報告書提出予定日 平成26年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	23,409	16.3	△251	—	△153	—	63	—
26年3月期第1四半期	20,120	17.0	△258	—	△218	—	△22	—

(注)包括利益 27年3月期第1四半期 △544百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 688百万円 (129.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	0.85	—
26年3月期第1四半期	△0.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	82,174	54,995	66.9
26年3月期	83,830	56,309	67.2

(参考)自己資本 27年3月期第1四半期 54,995百万円 26年3月期 56,309百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	57,000	13.6	2,500	0.5	2,700	3.2	1,900	4.8	25.22
通期	120,000	9.1	7,000	11.6	7,200	8.4	4,800	7.4	63.71

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	76,924,176 株	26年3月期	76,924,176 株
27年3月期1Q	1,581,361 株	26年3月期	1,580,782 株
27年3月期1Q	75,343,104 株	26年3月期1Q	75,348,946 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページの「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
(1) 販売実績	10
(2) 海外売上高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の売上高は23,409百万円(前年同四半期比16.3%増)、営業損失は251百万円(前年同四半期は258百万円の営業損失)、経常損失は153百万円(前年同四半期は218百万円の経常損失)、四半期純利益は63百万円(前年同四半期は22百万円の四半期純損失)となりました。セグメント別ではデサントコアを中心としたアジアが売上高及びセグメント利益共に好調でしたが、日本は減収減益となりました。

当社グループは、当期を2年目とする中期3ヶ年計画「Compass 2015」の達成に向けて、当期は「海外事業の更なる拡大」と「国内事業の再建」を事業方針としています。「海外事業の更なる拡大」については、東南アジアのマーケティング拠点として香港支店設置、欧州リエゾンオフィスの設置を行い、デサントグローバルビジネスチームの始動及びワングローバルブランドの推進を行っております。「国内事業の再建」については、在庫の適正化、種目別事業の強化、リテール型オペレーションの強化及び新たなブランド価値の創造を最重要課題として企業体質の強化に取り組んでおります。

商品政策では、「デサント」のゴルフカテゴリー「デサントゴルフ」を2015年春夏からスタートすることを4月に発表いたしました。「デサント」の既存カテゴリーに加え、当社の培ってきた企画力や技術力を活かせるゴルフカテゴリーを展開することで、さらなるグローバルでのブランド価値向上を図ります。「アンブロ」では遠藤保仁選手(ガンバ大阪)と共同開発し、同選手のプレースタイル、カラーリングなどへのこだわりを織り込み、実際に日本代表として着用したサッカースパイク「アクセレイターESE」を限定販売いたしました。

広告宣伝・販売促進活動では、公益財団法人日本ゴルフ協会と、2014年から2020年までのオフィシャルサプライヤー契約を締結いたしました。今回の契約により公益財団法人日本ゴルフ協会が選考する日本代表である「チームジャパン」を含む男女ナショナルチームならびにスタッフに各大会やトレーニング時に着用するウェアやアクセサリを「デサント」にてサプライいたします。また、「アンブロ」では、日本・韓国以外で展開している「Iconix Brand Group社」と連携し、同社が契約しているイングランドプレミアリーグ「エバートン フットボール クラブ」や「ハル・シティ・アソシエーション・フットボールクラブ」をはじめとした有力チームや選手を活用したプロモーション活動をとともに行う「ワン グローバル アンブロ」政策を進めております。グループ内での連携に留まらず、こうしたパートナー企業ともブランドの世界観をグローバルに統一して表現する「ワングローバルブランド」を推進し、ブランド価値の向上に努めております。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。

(日本)

日本での売上高は9,354百万円(前年同四半期比8.4%減)、セグメント損失は1,767百万円(前年同四半期は1,033百万円のセグメント損失)となりました。アスレチック事業の売上高は昨年並みに推移いたしましたが、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動の影響もあり、ゴルフ事業及びアウトドア事業は減収となり、また戻り品や在庫処分増加による粗利率の低下や返品調整引当金繰入額の増加により減益となりました。

(アジア)

アジアでの売上高は14,031百万円(前年同四半期比41.7%増)、セグメント利益は1,608百万円(前年同四半期比81.0%増)となりました。韓国を中心に中国、香港でもアスレチック事業及びゴルフ事業は好調に、アウトドア事業については堅調に推移いたしました。

(北米)

北米ではスキーウェアを中心とした事業を行っておりますが、売上高は23百万円(前年同四半期は1百万円の売上高)、セグメント損失は87百万円(前年同四半期は87百万円のセグメント損失)となりました。

取扱商品の品目別売上高の状況は次のとおりであります。

(アスレチックウェア及びその関連商品)

アスレチックウェア及びその関連商品の売上高は16,417百万円(前年同四半期比24.7%増)となりました。国内市場においては、「アリーナ」は競技用水着の販売が伸び、好調に推移しました。「デサント」は昨年並みでしたが「ルコックスポルティフ」、「アンプロ」は減収となりました。アジア市場においては、韓国において「デサント」「ルコックスポルティフ」ともにフリース素材のアイテムやアクセサリーを中心に好調に推移いたしました。

(ゴルフウェア及びその関連商品)

ゴルフウェア及びその関連商品の売上高は5,914百万円(前年同四半期比0.6%増)となりました。国内市場においては、「ランバン スポール」は昨年並みに推移いたしましたが、「マンシングウェア」、「ルコックスポルティフ」は減収となりました。アジア市場においては、韓国において「マンシングウェア」は春のアウトターやセーターが販売を牽引し好調に、「ルコックスポルティフ」も現地企画のアイテムが好評を博し、好調に推移いたしました。

(アウトドアウェア及びその関連商品)

アウトドアウェア及びその関連商品の売上高は1,077百万円(前年同四半期比0.1%減)となりました。国内市場においては、「マーモット」は昨年並みに推移いたしました。アジア市場においては、韓国において「デサント」が堅調に推移いたしました。

(社会貢献活動)

社会貢献活動としましては、デサントヘルスマネジメント研究所で培ったノウハウを活用し、健康増進プログラム「東北元気アップ教室2014春」を福島県双葉町・浪江町で開催いたしました。今後も被災地の方々の心と体の健康維持向上のための支援活動を続けてまいります。

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況に関する分析)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は82,174百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,655百万円減少致しました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ1,576百万円減少し、58,842百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金の減少4,603百万円、商品及び製品の増加3,385百万円によるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べ79百万円減少し、23,332百万円となりました。これは主に有形固定資産の減少65百万円によるものです。

負債合計は前連結会計年度末に比べ341百万円減少し、27,179百万円となりました。これは主に賞与引当金の減少336百万円によるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ1,313百万円減少し、54,995百万円となりました。これは主に利益剰余金の減少705百万円、為替換算調整勘定の減少646百万円によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.2%減の66.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く環境はさらに厳しい状況で推移するものと見込まれます。

このような状況のなかで、当社グループは引き続き企業体質の強化による収益力向上と企業価値の向上に努めてまいります。

連結業績予想につきましては、概ね当初予想の範囲内で推移しており、現時点においては、平成26年5月8日に公表しました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社について、税金費用は、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、当該連結子会社の法人税等は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(重要なヘッジ会計処理等の方法の変更)

従来、外貨建金銭債権債務に係る為替予約については振当処理を採用しておりましたが、為替リスクの評価及び為替予約に関する管理体制の見直しを行った結果、外貨建金銭債権債務及びデリバティブ取引の状況をより適正に連結財務諸表に反映させるため、当第1四半期連結会計期間よりヘッジ手段である為替予約を時価評価する方法に変更いたしました。

当該会計方針の変更は、過去の期間に与える影響額が軽微であるため、遡及適用しておりません。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の算定方法を変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が24百万円増加し、利益剰余金が15百万円減少しております。また、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,857	15,596
受取手形及び売掛金	21,481	16,877
商品及び製品	18,226	21,611
仕掛品	23	20
原材料及び貯蔵品	703	789
その他	3,216	4,033
貸倒引当金	△90	△86
流動資産合計	60,418	58,842
固定資産		
有形固定資産	14,336	14,270
無形固定資産	2,230	2,242
投資その他の資産		
その他	7,057	7,027
貸倒引当金	△212	△208
投資その他の資産合計	6,844	6,819
固定資産合計	23,411	23,332
資産合計	83,830	82,174
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,537	15,690
1年内返済予定の長期借入金	106	105
未払法人税等	1,129	1,063
賞与引当金	768	431
返品調整引当金	503	834
その他	4,418	3,933
流動負債合計	22,463	22,058
固定負債		
長期借入金	903	886
退職給付に係る負債	1,014	1,046
その他	3,139	3,188
固定負債合計	5,057	5,120
負債合計	27,520	27,179

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,846	3,846
資本剰余金	25,184	25,184
利益剰余金	24,443	23,738
自己株式	△666	△666
株主資本合計	52,807	52,101
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	407	461
繰延ヘッジ損益	△4	△32
為替換算調整勘定	3,114	2,468
退職給付に係る調整累計額	△15	△3
その他の包括利益累計額合計	3,501	2,893
純資産合計	56,309	54,995
負債純資産合計	83,830	82,174

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	20,120	23,409
売上原価	9,313	10,414
売上総利益	10,807	12,994
返品調整引当金繰入額	76	345
差引売上総利益	10,731	12,649
販売費及び一般管理費	10,989	12,901
営業損失(△)	△258	△251
営業外収益		
受取利息	20	31
受取配当金	20	20
その他	48	89
営業外収益合計	89	142
営業外費用		
支払利息	0	2
固定資産除却損	18	28
為替差損	29	11
その他	1	0
営業外費用合計	49	43
経常損失(△)	△218	△153
税金等調整前四半期純損失(△)	△218	△153
法人税、住民税及び事業税	432	454
法人税等調整額	△628	△671
法人税等合計	△195	△217
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主 損益調整前四半期純損失(△)	△22	63
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△22	63

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主 損益調整前四半期純損失(△)	△22	63
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46	54
繰延ヘッジ損益	△5	△27
為替換算調整勘定	635	△621
退職給付に係る調整額	—	11
持分法適用会社に対する持分相当額	33	△25
その他の包括利益合計	710	△608
四半期包括利益	688	△544
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	688	△544

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,214	9,903	1	20,120	—	20,120
セグメント間の内部売上高 又は振替高	88	84	—	172	△172	—
計	10,303	9,988	1	20,292	△172	20,120
セグメント利益又は損失	△1,033	888	△87	△232	△26	△258

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△26百万円には、セグメント間取引消去36百万円、棚卸資産の調整額△63百万円を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,354	14,031	23	23,409	—	23,409
セグメント間の内部売上高 又は振替高	68	0	0	68	△68	—
計	9,423	14,031	23	23,477	△68	23,409
セグメント利益又は損失	△1,767	1,608	△87	△247	△4	△251

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△4百万円には、セグメント間取引消去6百万円、棚卸資産の調整額△11百万円を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4. 補足情報

(1) 販売実績

(単位：百万円、%)

区分	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
アスレチックウェア 及びその関連商品	13,160	65.4	16,417	70.1	3,256	24.7
ゴルフウェア 及びその関連商品	5,880	29.2	5,914	25.3	33	0.6
アウトドアウェア 及びその関連商品	1,079	5.4	1,077	4.6	△1	△0.1
計	20,120	100.0	23,409	100.00	3,288	16.3

(2) 海外売上高

前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

(単位：百万円、%)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高	10,130	4	0	10,134
II 連結売上高				20,120
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	50.4	0.0	0.0	50.4

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

(単位：百万円、%)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高	14,333	23	71	14,427
II 連結売上高				23,409
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	61.2	0.1	0.3	61.6

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。